消　防　団

伊勢崎市秋季消防点検
（令和7年１０月19日　八斗島ちびっこ広場）

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団
伊勢崎市消防団・玉村町消防団

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団現況配置図

（令和８年４月１日現在）

所在地〔事務局〕

伊勢崎市消防団	群馬県	伊勢崎市今泉町二丁目８９５	［消防本部総務課消防団係］	TEL.0270-25-3511
第１・第２方面隊	〃	伊勢崎市今泉町二丁目８９５	［伊勢崎消防署総務係］	TEL.0270-25-3918
赤堀方面隊	〃	伊勢崎市西久保町二丁目３４１－３	［赤堀消防署総務係］	TEL.0270-62-0230
東方面隊	〃	伊勢崎市東小保方町３２３８	［東消防署総務係］	TEL.0270-62-8980
境方面隊	〃	伊勢崎市境木島９０７	［境消防署総務係］	TEL.0270-27-9119
玉村町消防団	〃	佐波郡玉村町大字下新田２０１	［玉村町環境安全課］	TEL.0270-65-2511

伊勢崎市消防団の沿革

１．市町村合併以前

○伊勢崎市消防団

明治２７年　８月　従来の伊勢崎火防組を、伊勢崎消防組と改編し、３部制、定数１８３人、腕用ポンプ３台となる。
大正１５年１２月　３部制を６部制に改組し、定数７７人に減員する。
昭和　３年１１月　６部制を５部制に改組し、定数７３人に減員する。
昭和１５年　９月　殖蓮村及び茂呂村合併により、伊勢崎市警防団に改組し、８個分団、定数８４６人となる。
昭和２１年　７月　伊勢崎市警防団改編により、定数４３２人に減員する。
昭和２２年１２月　伊勢崎市警防団を、伊勢崎市消防団に改称する。
昭和２６年１０月　全分団に自動車ポンプを配置し、１個分団定員１５人、自動車ポンプ１３台、定数１８５人となる。
　　１２月　伊勢崎市消防団常備消防部を１０人増員し、計２６人となる。
昭和３０年　１月　三郷村合併により、手引きガソリンポンプ３台となり、団員５０人を増員する。
　　３月　宮郷村、名和村及び豊受村合併により、伊勢崎市消防団は、１８個分団３４１人、自動車ポンプ１６台、手引きガソリンポンプ５台となる。
昭和４６年　４月　組織再編により、伊勢崎市消防本部伊勢崎消防団から、伊勢崎佐波消防組合伊勢崎消防団となる。（１８個分団（うち２部制３個分団）３１９人）
昭和４７年１０月　組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合伊勢崎消防団となる。
昭和５３年　７月　第２分団１部を第２の１分団に、第２分団２部を第２の２分団に、第９分団１部を第９の１分団に、第９分団２部を第９の２分団に組織改編し、分団数が１８個分団から２０個分団（１個分団のみ２部制）となる。
昭和５４年　４月　団本部に分団長級を３人増員し、定数３２０人となる。
昭和６０年　４月　消防団が市に帰属し、伊勢崎市消防団となる。
平成　８年　４月　第１分団１部を第１の１分団に、第１分団２部を第１の２分団に組織改編し、分団数が２０個から２１個分団となる。

○赤堀町消防団

明治２７年１１月　赤堀消防組を設置する。
昭和１４年　４月　赤堀警防団に改称し、定数４３４人となる。
昭和２２年　４月　赤堀消防団に改称する。
昭和３９年　１月　赤堀消防団の編成が、６個分団、定数１０４人となる。
昭和４６年　４月　組織再編により、伊勢崎佐波消防組合赤堀消防団となる。（６個分団、１０４人）
昭和４７年　９月　群馬県消防ポンプ操法大会において、赤堀消防団第２分団が優勝する。
　　１０月　組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合赤堀消防団となる。
昭和４８年　４月　赤堀消防団が優秀消防機関として、県知事から表彰状及び表彰旗を授与される。
昭和６０年　４月　消防団が町に帰属し、赤堀町消防団となる。

○東村消防団

明治２８年　消防組６部を設置する。（警察の管理下）
昭和１４年　１月　警防団令が公布され、警防団となる。
昭和２３年　３月　消防組織法が施行され、消防団となる。（４個分団８９人）
昭和４５年　４月　東村消防団の編成が、４個分団、定数８８人となる。
昭和４６年　４月　組織再編により、伊勢崎佐波消防組合東消防団となる。
昭和４７年１０月　組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合東消防団となる。
昭和６０年　４月　消防団が村に帰属し、東村消防団となる。

○境町消防団

明治２７年１１月　公設消防組を５組（境、采女、剛志、島及び世良田）設置する。
昭和１４年　４月　公設消防組合を廃止、公設警防団となる。
昭和２２年　４月　公設警防団を廃止、消防団となる。
昭和３０年　３月　町村合併により、境町、采女村、剛志村及び島村が廃止され境町になり、境消防団を設置する。
昭和３２年１１月　新田郡世良田村の一部が合併し、７個分団を増設して２３個分団となる。
昭和３６年　４月　消防団改編（分団統合）により、２３個分団から１８個分団となる。
昭和３７年　４月　消防団改編（分団統合）により、１８個分団から１４個分団、定数２６５人となる。
昭和４２年　４月　消防団改編により、９分団９部制、定数２３４人となる。
昭和４６年　４月　組織再編により、伊勢崎佐波消防組合境消防団となる。（９個分団（うち３部制１個分団、２部制
昭和４７年１０月　組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合境消防団となる。
昭和５５年　４月　消防団組織改編により、部制を廃止、９分団９部制から１４分団、定数２３４人となる。
昭和６０年　４月　消防団が町に帰属し、境町消防団となる。
平成　２年　４月　消防団条例の改正により、副団長３人、定数２１９人となる。

２．市町村合併後

平成１７年　１月　市町村合併に伴い、伊勢崎市消防団（定数３２０人）が伊勢崎市伊勢崎消防団に、赤堀町消防団（定数１０４人）が伊勢崎市赤堀消防団に、東村消防団（定数９１人）が伊勢崎市東消防団に、境町消防団（定数２１９人）が伊勢崎市境消防団に改称する。
　　１月　玉村町と消防団相互応援協定を締結する。
　　３月　太田市と消防相互応援協定を締結する。
平成１８年　２月　前橋市及び桐生市と、消防団相互応援協定を締結する。
　　３月　みどり市と消防団相互応援協定を締結する。
　１２月　伊勢崎市伊勢崎消防団第１の２分団及び第１７分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し、配備する。
平成１９年　４月　消防団の一元化と組織の改編に伴い、４消防団を統合し、伊勢崎市消防団（１本部５方面隊、定数７３４人）を配置する。
　　４月　初代消防団長に、吉岡伸也氏が就任する。
　１２月　伊勢崎第１方面隊第４分団及び伊勢崎第２方面隊第１６分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し、配備する。
平成２０年　２月　赤石地区整備事業に伴い、伊勢崎第１方面隊第１の１分団詰所を、曲輪町２８番２３号から曲輪町２７番７号に、新築移転する。
　　４月　第２代消防団長に、小堀和行氏が就任する。
　　４月　深谷市及び本庄市と、消防団相互応援協定を締結する。
　１２月　北関東自動車道波志江スマートＩＣ設置に伴い、伊勢崎第１方面隊第９の１分団詰所を、波志江町２５７４番地から波志江町２６３８番地２に、新築移転する。
平成２１年　１月　伊勢崎第１方面隊第１１分団及び伊勢崎第２方面隊第２の１分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し、配備する。
　　４月　組織の改編により、団本部員の副方面隊長の階級を、副団長から分団長に改め、副団長階級を１６人から５人、分団長階級を４５人から５６人とする。併せて、伊勢崎第１方面隊及び伊勢崎第２方面隊から伊勢崎を削除し、第１方面隊及び第２方面隊に改称する。
　　４月　第３代消防団長に、矢内昌春氏が就任する。
　　５月　消防庁長官表彰を受章する。
　　７月　組織の改編により、部長階級を廃止し、定数７３５人となる。
　１２月　第２方面隊第２の２分団及び第１８分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し、配備する。
平成２２年　３月　境方面隊第１分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（９００リットル水槽付）を更新し、配備する。（経済危機対策臨時交付金事業）
　　４月　第４代消防団長に、齋藤本目氏が就任する。
　　４月　境消防署配備の消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（９００リットル水槽付）を、伊勢崎市消防団の災害対応車として配置換えし、車両運用の効率化を図るため、東方面隊本部配備の水防車を東消防署に、境方面隊本部配備の水防車を境消防署に配置換えする。
平成２３年　１月　境方面隊第２分団及び第８分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し、配備する。
　　４月　第５代消防団長に、矢内豊氏が就任する。
　　５月　群馬県知事総合表彰を受章する。
平成２４年　１月　東方面隊第３分団及び境方面隊第１４分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し、配備する。
平成２５年　２月　第２方面隊第８分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を、赤堀方面隊第１分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（９００リットル水槽付）を更新し、配備する。
　　４月　伊勢崎市消防団の組織等に関する規則を、一部改正し、副団長及び方面隊長の兼務を解き、それぞれ専任とする。また、団本部を１７人から１８人に増員する。
平成２６年　２月　第１方面隊第１２分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を、境方面隊第１１分団に消防ポンプ自動車水Ⅰ－Ａ型（１，５００リットル水槽付）を更新し、配備する。
　１１月　総務省消防庁から借受した、救助資機材搭載型消防ポンプ自動車を、伊勢崎市消防団の災害対応車として境消防署に配備する。
平成２７年　２月　第１方面隊第１の１分団及び第１０分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し、配備する。
平成２８年　２月　東方面隊第４分団及び境方面隊第１３分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し、配備する。
平成２９年　２月　第２方面隊第１３分団及び境方面隊第５分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し、配備する。
　　３月　日本消防協会定例表彰を受章する。
　　４月　伊勢崎市消防団の組織等に関する規則を、一部改正し、赤堀方面隊本部の副方面隊長を２人から１人とし、団本部を１８人から１７人に減員する。
平成３０年　２月　第１方面隊第５分団及び赤堀方面隊第６分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し、配備する。
　　４月　第６代消防団長に、諏訪耕平氏が就任する。
平成３１年　２月　第２方面隊第６分団及び第１４分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型を更新し、配備する。
令和　２年　２月　第１方面隊第３分団及び境方面隊第１０分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（普通免許対応）を更新し、配備する。
　　４月　伊勢崎市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例を、一部改正し、機能別消防団員制度を導入する。

１０月　救助活動用資機材（エンジンカッター、チェーンソー及び油圧切断機）を、第１方面隊、赤堀方面隊及び東方面隊に配備する。
１２月　第１方面隊第９の１分団及び東方面隊第２分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（普通免許対応）を更新し、配備する。
１２月　第１方面隊第１１分団詰所の老朽化に伴い、東上之宮町３２７から東上之宮町４３９－２に、新築移転する。
令和　３年　２月　水災活動用資機材として、ボートを２艇（第１及び第２方面隊に１艇、境方面隊に１艇）配備する。また、排水ポンプを２台（第１及び第２方面隊に１台、境方面隊に１台）配備する。
３月　総務大臣から感謝状を授与される。
令和　４年　１月　第１方面隊、赤堀方面隊、東方面隊及び境方面隊に、方面隊本部車を更新し、配備する。
１月　赤堀方面隊第４分団詰所の老朽化に伴い、西野町４９５に新築する。
４月　第７代消防団長に、金井健一氏が就任する。
１２月　赤堀方面隊第３分団詰所の老朽化に伴い、香林町二丁目１２９５－８から香林町二丁目１２９１－５３に、新築移転する。
令和　５年　３月　赤堀方面隊第４分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（普通免許対応）を更新し、配備する。
令和　６年　１月　境方面隊第７分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（普通免許対応）を更新し、配備する。
１１月　赤堀方面隊第５分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（普通免許対応）を更新し、配備する。
令和　７年　１月　第１方面隊第１０分団詰所の老朽化に伴い、宮子町１１７０－６から宮子町１２１１－１５に、新築移転する。
１０月　第２方面隊第７分団及び境方面隊第６分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（普通免許対応）を更新し、配備する。
令和　８年　４月　第８代消防団長に、浅見誠氏が就任する。
４月　第２方面隊第２の１分団と第２の２分団が分団統合により第２方面隊第２分団となる。（４４個分団）

伊勢崎市消防団組織表

（令和８年４月１日現在）

		所在地	区域	団員配置						
				団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	計
	団本部	今泉町二丁目895 （消防本部総務課内）	伊勢崎市管内一円	1	8	10			8	27
第1方面隊	方面隊本部	今泉町二丁目895 （伊勢崎消防署内）	第１方面隊管内一円		隊長 （1）	副隊長 （2）				（3）
	１の１分団	曲輪町27-7	曲輪町一区・二区・三区 大手町一区・二区・三区・四区 平和町一区・二区・三区・若葉町一区			1	1	2	11	15
	１の２分団	柳原町70-1	喜多町区・宗高町区・柳原町区 寿町区・華蔵寺町区・末広町区			1	1	2	11	15
	３分団	宮前町161	昭和町区・宮前町区 東本町区・下植木町区			1	1	2	11	15
	４分団	上植木本町2309-11	三和町曙区・三和町堤区・三和町書上区・本関町区・鹿島町植木区 鹿島町中下区・上植木本町区			1	1	2	11	15
	５分団	上諏訪町1588	豊城町区・上諏訪町区 日乃出町下諏訪町区・日乃出町神谷区			1	1	2	11	15
	９の１分団	波志江町2638-2	波志江町一丁目区・波志江町二丁目区・ 波志江町三丁目区			1	1	2	11	15
	９の２分団	安堀町264	安堀町区・太田町区			1	1	2	11	15
	１０分団	宮子町1211-15	稲荷町区・宮子町区			1	1	2	11	15
	１１分団	東上之宮町439-2	田中町区・上之宮町区・宮古町区			1	1	2	11	15
	１２分団	連取町3331-1	連取本町区・連取元町区 連取町区・田中島町区			1	1	2	11	15
第2方面隊	方面隊本部	今泉町二丁目895 （伊勢崎消防署内）	第２方面隊管内一円		隊長 （1）	副隊長 （2）				（3）
	２分団	中央町24-10	本町一区・二区・若葉町二区 三光町区・緑町区 中央町一区・二区・三区			1	1	3	15	20
	６分団	今泉町一丁目1233-1	上泉町区・八坂町区 今泉町一丁目区・今泉町二丁目区			1	1	2	11	15
	７分団	茂呂町二丁目3318-5	北千木町区・南千木町区 茂呂町一丁目区・茂呂町二丁目区			1	1	2	11	15
	８分団	茂呂南町4479	美茂呂町区・ひろせ町区 茂呂南町区・新栄町区			1	1	2	11	15
	１３分団	山王町393-6	今井町区・山王町区			1	1	2	11	15
	１４分団	柴町629-3	韮塚町区・阿弥大寺町区・柴町区			1	1	2	11	15
	１５分団	福島町29-1	堀口町区・中町区・戸谷塚町区 福島町区・八斗島町区			1	1	2	11	15
	１６分団	富塚町2419-5	除ケ町区・大正寺町区・富塚町区 下道寺町区			1	1	2	11	15
	１７分団	馬見塚町1046	馬見塚天神町区・馬見塚三ツ橋町区 馬見塚中町区・馬見塚本町区 馬見塚渕町区・馬見塚清水町区 リバータウン広瀬区・羽黒町区			1	1	2	11	15
	１８分団	下蓮町18-6	長沼本郷町区・長沼町区・上蓮町区 下蓮町区・国領町区・飯島町区			1	1	2	11	15

名称		所在地	区域	団員配置						
				団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	計
赤堀方面隊	方面隊本部	西久保町二丁目341-3 （赤堀消防署内）	赤堀方面隊管内一円		隊長 （1）	副隊長 （2）				（3）
	１分団	西久保町一丁目55-1	西久保町一丁目区・西久保町二丁目区 曲沢町区・赤堀今井町一丁目区 赤堀今井町二丁目区			1	1	3	15	20
	２分団	赤堀鹿島町523-2	赤堀鹿島町区・間野谷町区			1	1	2	11	15
	３分団	香林町二丁目1291-53	香林町一丁目区・香林町二丁目区			1	1	2	11	15
	４分団	西野町495	野町区・磯町区・西野町区			1	1	2	11	15
	５分団	下触町999-1	下触町区・五目牛町区			1	1	2	11	15
	６分団	市場町二丁目360	西久保町三丁目区・堀下町区 市場町一丁目区・市場町二丁目区			1	1	3	15	20
東方面隊	方面隊本部	東小保方町3238 （東消防署内）	東方面隊管内一円		隊長 （1）	副隊長 （2）				（3）
	１分団	東町2597-2	小泉町区・東町区 八寸町区・西小保方町区			1	1	3	17	22
	２分団	東小保方町3339-1	下代区・平井町区・下谷区 下区・新町区・三室町区			1	1	3	17	22
	３分団	田部井町一丁目1433-1	田部井上区・田部井下区・向原区 上田町区			1	1	3	17	22
	４分団	国定町一丁目1250-32	東国定上区・東国定下区 西国定上区・西国定下区			1	1	3	17	22
境方面隊	方面隊本部	境木島907 （境消防署内）	境方面隊管内一円		隊長 （1）	副隊長 （2）				（3）
	１分団	境東279	境東町区・諏訪町区・元町区 南町区・境仲町区・上町区 萩原町区・清水町区・美原区			1	1	3	15	20
	２分団	境伊与久2537-1	伊与久一区・二区・三区			1	1	2	11	15
	３分団	境木島424-6	百々東区・百々区・木島区			1	1	2	11	15
	４分団	境上渕名1143-1	上渕名区			1	1	2	11	15
	５分団	境下渕名1857-8	下渕名六区・下渕名七区			1	1	2	11	15
	６分団	境東新井452-1	東新井区			1	1	2	11	15
	７分団	境下武士460-1	上武士区・下武士西区・下武士東区			1	1	2	11	15
	８分団	境保泉880-2	保泉区・保泉一丁目区			1	1	2	11	15
	９分団	境小此木463-4	小此木区			1	1	2	11	15
	１０分団	境島村43-1	中島区・北向区・西島前河原区			1	1	2	11	15
	１１分団	境島村2594-1	新地区・新野新田区・立作区			1	1	2	11	15
	１２分団	境平塚1221-5	平塚区・南米岡区・北米岡区			1	1	2	11	15
	１３分団	境三ツ木239-9	境新栄区・栄町区・女塚区・三ツ木区			1	1	2	11	15
	１４分団	境上矢島905-1	西今井区・上矢島区			1	1	2	11	15
合計				1	8	54	44	96	532	735

※　表中の（　）は兼務者を指す。

※　表中の隊長は方面隊長、副隊長は副方面隊長を指す。

※　機能別消防団員は、本部又は方面隊本部、若しくは分団に所属し、条例定数７３５人の範囲内とする。

伊勢崎市消防団車両一覧表

（令和８年４月１日現在）

	車両名	メーカー	登録番号	登録年月日	ポンプ			原動機		備考
					製作所	型式	級別	燃料	排気量	
団本部	団本部車	ニッサン	８００あ２３７８	R3.12.9				ガソリン	650	第１・第２方面隊と兼用
	団本部２号車	トヨタ	８００せ８８８６	H31.1.25				ガソリン	2,690	第１・第２方面隊と兼用
	災害対応車	いすゞ	８００せ６００１	H26.11.27	モリタ	二段バランスタービン	Ａ－２	軽油	2,990	ＣＤ－Ⅰ型（救助資機材搭載）
第1方面隊	１の１分団	トヨタ	８００せ６１１９	H27.2.5	〃	〃	〃	〃	4,000	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
	１の２分団	日野	８３０た１１０２	H18.12.7	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型
	３分団	トヨタ	８００せ９５５１	R2.1.21	〃	〃	〃	〃	2,980	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）（普通免許対応）
	４分団	日野	８００す９８０１	H19.12.18	〃	〃	〃	〃	4,000	ＣＤ－Ⅰ型
	５分団	トヨタ	８００せ８１９０	H30.1.19	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	９の１分団	トヨタ	８００そ１８７	R2.11.19	〃	〃	〃	〃	2,980	ＣＤ－Ⅰ型（普通免許対応）
	９の２分団	ニッサン	８００さ１６９６	H11.11.24	〃	〃	〃	〃	4,000	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
	１０分団	トヨタ	８００せ６１２０	H27.2.5	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型
	１１分団	トヨタ	８００せ７６８	H20.11.19	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
	１２分団	トヨタ	８００せ５３２２	H26.2.4	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型
	２分団	トヨタ	８００せ１７２３	H21.11.16	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
	６分団	トヨタ	８００せ８９１６	H31.2.13	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	７分団	トヨタ	８００そ３５６７	R7.9.8	〃	〃	〃	ガソリン	1,990	ＣＤ－Ⅰ型（普通免許対応）
	８分団	トヨタ	８００せ４４９０	H25.2.6	〃	〃	〃	軽油	4,000	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
	１３分団	トヨタ	８００せ７５１０	H29.1.12	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型
	１４分団	トヨタ	８００せ８９１５	H31.2.13	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
	１５分団	いすゞ	８８ね１４４	H10.11.30	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型
	１６分団	日野	８００す９８０２	H19.12.18	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	１７分団	日野	８３０そ１０１７	H18.12.7	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	１８分団	トヨタ	８００せ１７２２	H21.11.17	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型（可搬Ｃ－１積載）
赤堀方面隊	方面隊本部車	ニッサン	８８０あ２３７７	R3.12.9				ガソリン	650	
	１分団	トヨタ	８００せ４４９１	H25.2.6	モリタ	二段バランスタービン	Ａ－２	軽油	4,000	ＣＤ－Ⅰ型（900Ｌ水槽付）
	２分団	いすゞ	８８ね８９７	H11.3.8	〃	〃	〃	〃	4,570	ＣＤ－Ⅰ型
	３分団	いすゞ	８００さ２２０７	H12.1.31	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	４分団	トヨタ	８００そ１７７９	R5.2.16	〃	〃	〃	ガソリン	1,990	ＣＤ－Ⅰ型（普通免許対応）
	５分団	トヨタ	８００そ２９５１	R6.10.10	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	６分団	トヨタ	８００せ８１９１	H30.1.19	〃	〃	〃	軽油	4,000	ＣＤ－Ⅰ型

	車 両 名	メーカー	登録番号	登録年月日	ポ　ン　プ			原動機		備　　考
					製作所	型式	級別	燃　料	排気量	
東方面隊	方面隊本部車	ニッサン	８８０あ２３８０	R3.12.9				ガソリン	650	
	１分団	ミツビシ	８００す２９２３	H15.12.5	モリタ	二段バランスタービン	Ａ－２	軽油	8,200	水Ⅱ型 (2,000Ｌ水槽付)
	２分団	トヨタ	８００そ１８８	R2.11.19	〃	〃	〃	〃	2,980	ＣＤ－Ⅰ型 (普通免許対応)
	３分団	トヨタ	８００せ３６１９	H24.1.25	〃	〃	〃	〃	4,400	ＣＤ－Ⅰ型
	４分団	トヨタ	８００せ６８４１	H28.1.26	〃	〃	〃	〃	4,000	〃
境方面隊	方面隊本部車	ニッサン	８８０あ２３７９	R3.12.9				ガソリン	650	
	１分団	トヨタ	８００せ２０８１	H22.3.16	モリタ	二段バランスタービン	Ａ－２	軽油	4,000	ＣＤ－Ⅰ型 (900Ｌ水槽付)
	２分団	トヨタ	８００せ２７６２	H23.1.11	〃	〃	〃	〃	〃	ＣＤ－Ⅰ型
	３分団	いすゞ	８００さ１２７１	H11.10.4	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	４分団	いすゞ	８００さ７６２０	H13.9.28	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	５分団	トヨタ	８００せ７５１１	H29.1.12	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	６分団	トヨタ	８００そ３５６６	R7.9.8	〃	〃	〃	ガソリン	1,990	ＣＤ－Ⅰ型 (普通免許対応)
	７分団	トヨタ	８００そ２２８８	R5.10.11	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	８分団	トヨタ	８００せ２７６３	H23.1.11	〃	〃	〃	軽油	4,000	ＣＤ－Ⅰ型
	９分団	いすゞ	８００さ１２７２	H11.10.4	〃	〃	〃	〃	4,570	〃
	１０分団	トヨタ	８００せ９５５２	R2.1.21	〃	〃	〃	〃	2,980	ＣＤ－Ⅰ型 (普通免許対応)
	１１分団	日野	８００せ５３２７	H26.2.5	〃	〃	〃	〃	6,400	水Ⅰ－Ａ型(1,500Ｌ水槽付) (可搬Ｃ－１積載)
	１２分団	いすゞ	８００さ７６２１	H13.9.28	〃	〃	〃	〃	4,570	ＣＤ－Ⅰ型
	１３分団	トヨタ	８００せ６８４３	H28.1.26	〃	〃	〃	〃	4,000	ＣＤ－Ⅰ型 (可搬Ｃ－１積載)
	１４分団	トヨタ	８００せ３６２２	H24.1.25		〃	〃	〃	4,400	ＣＤ－Ⅰ型

伊勢崎市消防団ポンプ車等の配備状況及び現有台数

（令和８年４月１日現在）

水槽付ポンプ車			普通ポンプ車	方面隊本部車	合　計	小型動力ポンプ Ｃ－１級
水Ⅱ型	水Ⅰ型	ＣＤ－Ⅰ型	ＣＤ－Ⅰ型			
Ａ－２級			Ａ－２級			
1	1	2	４１（9）	5	５０	１０

※　表中の（　）は、４１のうち車両総重量３．５ｔ未満の普通免許で運転可能なポンプ車の台数。

伊勢崎市消防団無線配備一覧表

（令和８年４月１日現在）

	消防救急デジタル携帯無線機	デジタル簡易無線機	消防救急デジタル携帯受令機
正副団長		4	4
第１方面隊	2	２３（本部３、各分団２）	６３（本部３、各分団６）
第２方面隊	2	２３（本部３、各分団２）	６３（本部３、各分団６）
赤堀方面隊	2	１５（本部３、各分団２）	３９（本部３、各分団６）
東 方 面 隊	2	１１（本部３、各分団２）	２７（本部３、各分団６）
境 方 面 隊	2	３１（本部３、各分団２）	８７（本部３、各分団６）
合　　計	１０	１０７	２８３

伊勢崎市消防団資機材配備一覧表

（令和８年４月１日現在）

	エンジンカッター	チェーンソー	油圧救助資機材	排水ポンプ	救助用ボート
第１方面隊	1	1	1	1	1
第２方面隊	1	1	1		
赤堀方面隊	1	1	1		
東 方 面 隊	1	1	1	1	
境 方 面 隊	1	1	1	1	2
合　　計	5	5	5	3	3

１. 伊勢崎市消防団員年齢別状況

（令和８年４月１日現在）

18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳
0	5	8	10	2	4	5	9	8	15
28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳
8	14	7	14	17	12	15	19	22	27
38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳	46歳	47歳
15	31	18	32	31	23	31	33	18	27
48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳
26	27	12	23	11	19	15	11	10	5
58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳以上
6	5	3	1	2	1	2	2	1	2

平均年齢	うち女性	合　計
41.4歳	41.3歳	664人

２. 伊勢崎市消防団員階級別在団年数状況

（令和８年４月１日現在）

階級＼年数	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上	合　計
団　長							1		1
副団長					2	1	2	3	8
分団長			6	18	10	9	9	2	54
副分団長		2	7	15	12	6	2		44
班　長		8	25	24	20	11	7		95
団　員	36	94	82	101	73	48	15	13	462
合　計	36	104	120	158	117	75	36	18	664人

３. 伊勢崎市消防団員の職業構成別状況

（令和８年４月１日現在）

農　業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	卸売・小売・飲食店	サービス業	公務員	その他	合　計
54	87	177	19	42	94	46	145	664人

４. 伊勢崎市消防団員の就業形態別状況

（令和８年４月１日現在）

被用者	自営業	家族従業者	その他		合　計
				うち学生	
447	108	52	57	17	664人

５. 伊勢崎市消防団出動状況

（令和７年中）

	火　災	演習訓練	特別警戒	警防調査	その他	合　計
出動回数	263	419	152	16	2,753	3603回
出動延人数	961	1,931	1,095	114	9,305	13406人

６. 伊勢崎市消防団充足率

（令和８年４月１日現在）

定　数	実　員	充足率
735	664	90.3%